

ニューオーリンズ・トライアル (2003)

RUNAWAY JURY

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 128分

初公開日 2004/01/31

公開情報 東宝東和

【キャッチコピー】

この審判（トライアル）は一ープライドの殴り合い。

【解説】

「ザ・ファーム／法律事務所」「ペリカン文書」など多くのヒット映画の原作者としても知られるベストセラー作家ジョン・グリシャムの『陪審評決』を基に、訴訟内容をタバコ訴訟から銃訴訟に置き換え映画化した緊迫のリーガル・サスペンス。陪審員の取り込みを図り様々な裏工作を交え熾烈な駆け引きを展開する原告・被告側双方と、ある目的を秘めて陪審員団に潜り込むことに成功した一人の男。ひとつの民事訴訟を巡って繰り広げられる三すくみの法廷外バトルをスピーディかつスリリングに描く。監督は「コレクター」「サウンド・オブ・サイレンス」のゲイリー・フレダー。主演はジョン・キューザック。なお、下積み時代からの親友というジーン・ハックマンとダスティン・ホフマンの記念すべき初共演が実現したことも話題に。

ある朝、ニューオーリンズの証券会社で銃乱射事件が発生。犯人は16人を死傷させ、最後には自殺した。そして、この事件で夫を失った女性セレステが地元のベテラン弁護士ローアを雇って、犯人の使用した銃の製造メーカー、ヴィックスバーグ社を相手に民事訴訟を起こす。2年後、いよいよ裁判が始まろうとしていた。被告側は、会社の存亡に関わるこの裁判に伝説の陪審コンサルタント、フィッチを雇い入れる。彼は早速あらゆる手段を駆使し陪審員候補者の選別に取り掛かる。やがて陪審員団が決定するが、その中には謎に包まれた男ニックも含まれていた。

【クレジット】

監督	ゲイリー・フレダー	Gary Fleder	
製作	ゲイリー・フレダー	Gary Fleder	
	クリストファー・マンキウィッツ	Christopher Mankiewicz	
	アーノン・ミルチャン	Arnon Milchan	
製作総指揮	ジェフリー・ダウンナー	Jeffrey Downer	
原作	ジョン・グリシャム	John Grisham	『陪審評決』 (新潮文庫刊)
脚本	ブライアン・コッペルマン	Brian Koppelman	
	デヴィッド・レヴィーン	David Levien	
	マシュー・チャップマン	Matthew Chapman	
	リック・クリーヴランド	Rick Cleveland	
撮影	ロバート・エルスウィット	Robert Elswit	
編集	ウィリアム・スタインカンブ	William Steinkamp	
音楽	クリストファー・ヤング	Christopher Young	

出演	ジョン・キューザック	John Cusack	ニック・イースター
	ジーン・ハックマン	Gene Hackman	ランキン・フィッチ
	ダスティン・ホフマン	Dustin Hoffman	ウエンドール・ローア
	レイチェル・ワイズ	Rachel Weisz	マーリー
	ブルース・デイヴィソン	Bruce Davison	ダーウッド・ケープル
	ブルース・マッギル	Bruce McGill	ハーキン判事
	ジェレミー・ピヴェン	Jeremy Piven	ローレンス・グリーン
	ニック・サーシー	Nick Searcy	ドイル
	スタンリー・アンダーソン	Stanley Anderson	
	クリフ・カーティス	Cliff Curtis	
	ジェニファー・ビールス	Jennifer Beals	
	ネストール・セラノ	Nestor Serrano	
	リーランド・オーサー	Leland Orser	
	ジョアンナ・ゴーイング	Joanna Going	
	ビル・ナン	Bill Nunn	
	ディラン・マクダーモット	Dylan McDermott	
	マーガリート・モロー	Marguerite Moreau	
	ノーラ・ダン	Nora Dunn	
	ラスティ・シュウィマー	Rusty Schwimmer	
	セリア・ウェストン	Celia Weston	
	ルイス・ガスマン	Luis Guzman	
	コリー・イングリッシュ	Corri English	
	ジェイソン・デイヴィス	Jason Davis	